

平成 26 年 3 月期 第 4 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 2 月 12 日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也
 常務執行役員 経営企画担当 (氏名) 中野 保則 (TEL) 048(540)2805
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 4 四半期の連結業績 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 4 四半期	58,906	△0.9	△2,942	—	△2,158	—	△2,844	—
24 年 12 月期	59,413	△4.9	628	△75.9	618	△73.4	△741	—

(注) 包括利益 26 年 3 月期第 4 四半期 △2,481 百万円 (—%) 24 年 12 月期 △675 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 4 四半期	△141.19	—
24 年 12 月期	△36.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 4 四半期	47,494	12,083	25.4
24 年 12 月期	48,067	14,565	30.3

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 4 四半期 12,083 百万円 24 年 12 月期 14,565 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	第 4 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 12 月期	—	0 00	—	—	0 00	0 00
26 年 3 月期	—	—	0 00	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、決算期を 12 月 31 日から 3 月 31 日に変更しております。このため、決算期変更の経過期間となる平成 26 年 3 月期は 15 ヶ月の変則事業年度となります。

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	—	△3,900	—	△3,100	—	△3,700	—	△183.63

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当期は決算期の変更 (12 月 31 日を 3 月 31 日) に伴い、平成 25 年 1 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 15 ヶ月の変則事業年度となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期4Q	21,040,000株	24年12月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	26年3月期4Q	890,986株	24年12月期	890,950株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期4Q	20,149,017株	24年12月期	20,149,065株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第4四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第4四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第4四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、円安・株高が進行し、輸出採算の向上と内需回復により企業収益に回復の基調が見られ、消費者マインドも全体としては改善しつつあります。しかしながら、当食品包装容器業界に極めて関連性の深い食品・日用品などの一般消費財市場の環境は依然として厳しく、デフレ・低価格志向・節約志向が続いている上、同業他社との競争も日々激化しております。また、ナフサやベンゼンの海外市況も高止まりしている上、円安の進行などからポリスチレン等の原材料価格も上昇しております。

このような状況下、当社グループの国内では、9月3日から10月4日にかけて全国4会場で「2013中央化学商談会 Keep Up VALUE/Step Up VALUE」を開催し、2013年度グッドデザイン賞を受賞した「SD style」、カラーユニバーサルデザイン認証を取得した「Cube Deli」をはじめとした新製品紹介とそれらを活用した食品売場や食品盛付けの提案をおこない、多数のお客様の来場とともに好評を博し、盛況の内に終了することができました。これらの活動効果もあり、第4四半期における製品出荷数量は、CTやSDなどのPPフィルター製品の出荷好調に牽引され前年同期比で増加となりました。

一方で、当社が使用するプラスチック原材料の価格は、高止まりする原油価格や円安などの影響を受け、大幅に高騰している他、電気料や運賃など各種料金の値上げが続き、収益を著しく圧迫しております。これら原材料価格・各種料金の値上げを社内合理化や製造原価低減等の企業努力のみで吸収することは困難なことから、5月下旬に製品価格の改定を発表し、得意先様との交渉を実施してまいりましたが、同業他社との競合などから、価格改定に遅れが生じております。当社では価格改定の交渉を第5四半期以降も継続するとともに、原料ロス削減や加工費削減による製造原価低減、輸送効率化による物流費削減、その他の経費全般の削減にも全力で取り組んでまいります。

中国においては、多少の景気減速感が見られるものの第4四半期の実質GDP成長率が前年比7.7%となり、依然として高い経済成長率を示しており、安全・安心な当社グループ製品に対するニーズもますます高まっております。また、昨年設立した統括会社「環菱中央化学管理有限公司」の統括機能も順次拡大し、中国事業の効率化と体制強化が着実に図られております。しかしながら、中国においても国内と同様、原材料価格の上昇が響き、残念ながら減益となりました。

この結果、当第4四半期連結累計期間の業績は、売上高が58,906百万円、営業損失2,942百万円、経常損失2,158百万円、四半期純損益については、繰延税金資産489百万円を取崩したことなどから、四半期純損失2,844百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、現金及び預金が1,307百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ572百万円減少し47,494百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が2,050百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,909百万円増加し35,411百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純損失2,844百万円等により、前連結会計年度末に比べ2,481百万円減少し12,083百万円となり、自己資本比率は25.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第4四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、3,733百万円となり前連結会計年度末に比べ1,419百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費2,447百万円、仕入債務の増加1,180百万円があった一方、税金等調整前四半期純損失2,085百万円や法人税等の支払額243百万円等があり、1,023百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得1,349百万円等があり、1,318百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額500百万円や長期借入金による収入500百万円があった一方、リース債務の返済による支出1,149百万円や長期借入金の返済1,364百万円等があり、1,514百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年8月7日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成26年2月12日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第4四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,153	3,845
受取手形及び売掛金	11,655	11,532
商品及び製品	5,791	6,040
仕掛品	676	814
原材料及び貯蔵品	1,229	1,498
繰延税金資産	240	87
その他	2,792	2,656
貸倒引当金	△15	△23
流動資産合計	27,523	26,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,495	6,488
機械装置及び運搬具（純額）	3,111	3,067
土地	4,563	4,563
リース資産（純額）	3,749	4,493
建設仮勘定	155	298
その他（純額）	708	765
有形固定資産合計	18,784	19,676
無形固定資産		
リース資産	19	11
その他	383	450
無形固定資産合計	403	461
投資その他の資産		
投資有価証券	363	296
長期貸付金	125	145
破産更生債権等	183	114
繰延税金資産	803	459
その他	144	154
貸倒引当金	△265	△267
投資その他の資産合計	1,355	904
固定資産合計	20,543	21,042
資産合計	48,067	47,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第4四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,163	13,214
短期借入金	3,498	4,007
1年内返済予定の長期借入金	1,314	1,400
リース債務	1,001	1,283
未払金	2,183	2,102
未払法人税等	71	75
未払消費税等	41	73
賞与引当金	—	58
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	17	11
その他	1,742	1,389
流動負債合計	21,067	23,647
固定負債		
長期借入金	8,361	7,410
リース債務	3,000	3,490
退職給付引当金	777	572
役員退職慰労引当金	15	13
災害損失引当金	81	77
債務保証損失引当金	37	37
資産除去債務	7	7
その他	153	154
固定負債合計	12,434	11,763
負債合計	33,502	35,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	3,353	508
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	14,183	11,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	17
繰延ヘッジ損益	0	10
為替換算調整勘定	378	717
その他の包括利益累計額合計	381	744
純資産合計	14,565	12,083
負債純資産合計	48,067	47,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第4四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第4四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	58,906
売上原価	49,256
売上総利益	9,650
販売費及び一般管理費	12,592
営業損失(△)	△2,942
営業外収益	
受取利息	27
受取配当金	9
為替差益	855
その他	262
営業外収益合計	1,155
営業外費用	
支払利息	230
手形売却損	26
売上割引	83
その他	31
営業外費用合計	371
経常損失(△)	△2,158
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	0
受取補償金	195
特別利益合計	196
特別損失	
固定資産除売却損	34
災害損失	88
特別損失合計	123
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,085
法人税、住民税及び事業税	192
過年度法人税等	78
法人税等調整額	489
法人税等合計	759
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,844
四半期純損失(△)	△2,844

(四半期連結包括利益計算書)
(第4四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第4四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,844
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	13
繰延ヘッジ損益	10
為替換算調整勘定	338
その他の包括利益合計	363
四半期包括利益	△2,481
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,481

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第4四半期連結累計期間
(自 平成25年1月1日
至 平成25年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,085
減価償却費	2,447
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△205
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1
受取補償金	△195
受取利息及び受取配当金	△37
支払利息	230
為替差損益 (△は益)	△124
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△0
有形固定資産除却損	30
有形固定資産売却損益 (△は益)	3
役員退職慰労金	13
売上債権の増減額 (△は増加)	478
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△242
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,180
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21
その他	△241
小計	1,276
利息及び配当金の受取額	37
利息の支払額	△227
補償金の受取額	195
役員退職慰労金の支払額	△13
法人税等の支払額	△243
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△1,349
固定資産の売却による収入	2
定期預金の預入による支出	△124
定期預金の払戻による収入	12
投資有価証券の取得による支出	△12
投資有価証券の売却による収入	100
貸付金の回収による収入	15
破産更生債権等の回収による収入	46
その他	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500
長期借入れによる収入	500
長期借入金の返済による支出	△1,364
リース債務の返済による支出	△1,149
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,419
現金及び現金同等物の期首残高	5,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,733

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当第4四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,457	6,449	58,906	—	58,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82	2,076	2,158	△2,158	—
計	52,539	8,525	61,065	△2,158	58,906
セグメント利益又は損失(△)	△2,380	94	△2,286	△656	△2,942

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△656百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。